

# 二次医療圏別集計

## 人口

## %DCN, %DCO

表 1. 北海道の人口（2014 年集計分）

	女性	男性
南渡島	208,182	175,222
南檜山	12,827	11,395
北渡島檜山	19,629	18,200
札幌	1,242,278	1,101,211
後志	116,316	101,068
南空知	89,455	79,614
中空知	59,025	51,131
北空知	17,755	15,437
西胆振	99,462	90,809
東胆振	108,167	103,354
日高	35,767	33,995
上川中部	209,689	179,603
上川北部	34,980	32,279
富良野	22,170	20,618
留萌	25,461	23,219
宗谷	34,557	33,394
北網	115,156	108,478
遠紋	36,796	33,862
十勝	178,868	164,155
釧路	125,307	112,099
根室	39,135	37,504
北海道	2,830,984	2,526,648

表 2. 北海道の%DCN,%DCO（2014 年集計分）

	%DCN	%DCO
南渡島	9.4%	5.2%
南檜山	17.1%	4.7%
北渡島檜山	16.1%	8.1%
札幌	8.7%	4.6%
後志	17.8%	10.0%
南空知	20.6%	10.9%
中空知	24.0%	16.4%
北空知	20.1%	7.3%
西胆振	6.6%	3.4%
東胆振	9.5%	4.7%
日高	14.3%	7.4%
上川中部	7.6%	4.2%
上川北部	14.0%	7.3%
富良野	8.4%	2.7%
留萌	10.2%	6.3%
宗谷	16.8%	6.4%
北網	12.3%	8.7%
遠紋	13.2%	7.2%
十勝	11.8%	7.6%
釧路	7.4%	5.0%
根室	15.9%	7.3%
北海道	10.5%	5.8%

二次医療圏ごとに年齢調整死亡率（全部位、上皮内癌を除く）を比較すると、男性では道南地域、後志圏西胆振圏で高く、女性では、胆振圏、釧路圏、留萌圏、北空知圏で高かった。年齢調整罹患率（全部位、上皮内を除く）を比較すると、男性では南渡島圏、南檜山圏、西胆振圏、札幌圏、釧路圏で高く、女性では札幌圏、西胆振圏、南渡島圏で高かった。札幌圏は男女ともに、罹患率が高いが、死亡率は低かった。西胆振圏は男女ともに、死亡率が高く罹患率も高いため死亡率の高い原因は罹患率が高いためと考えられる。（図 11～図 36）人口の少ない医療圏は、年毎の変動が大きく単年の結果を検討するには慎重を要する。2014 年集計分から遡り調査を実施しており、登録精度が良くなったため罹患状況の検討も可能になった。

※二次医療圏別集計の死亡数：都道府県データベースシステム研究利用データから算出



# 年齢調整罹患率/死亡率（全部位）

女性

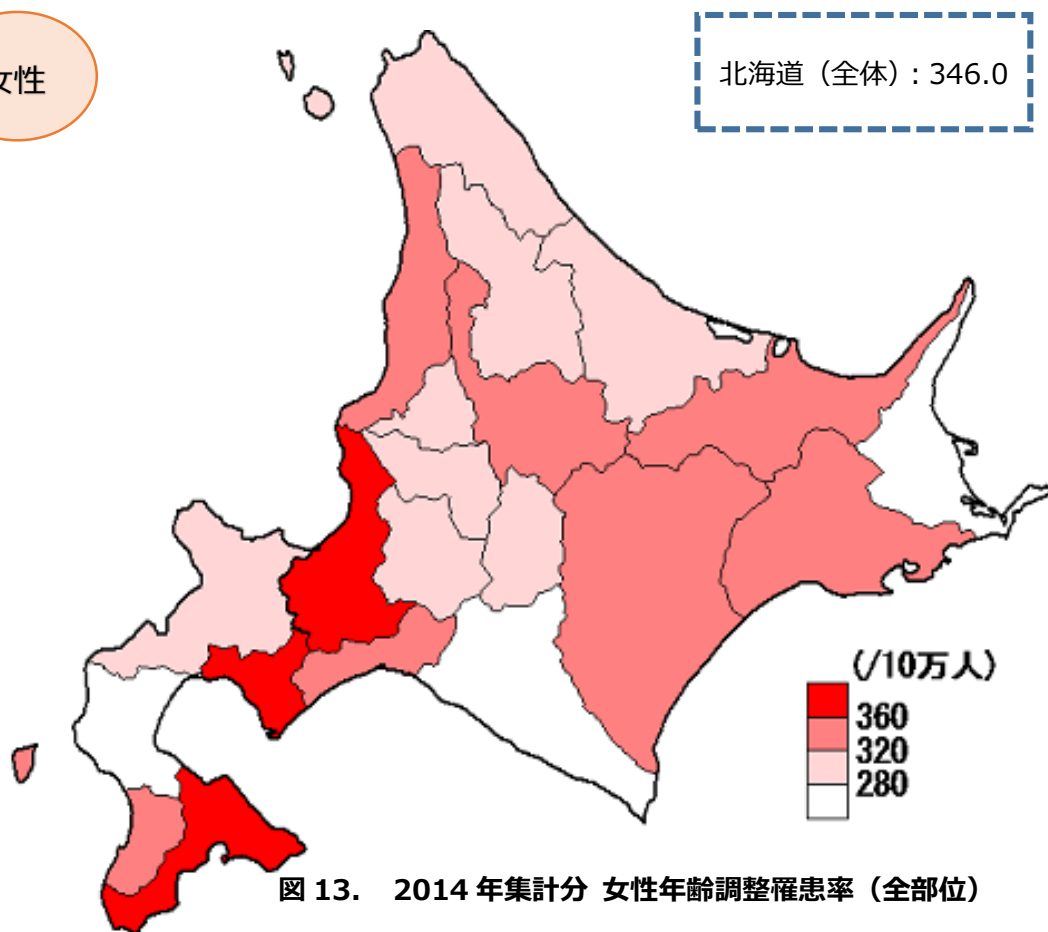


图 13. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（全部位）

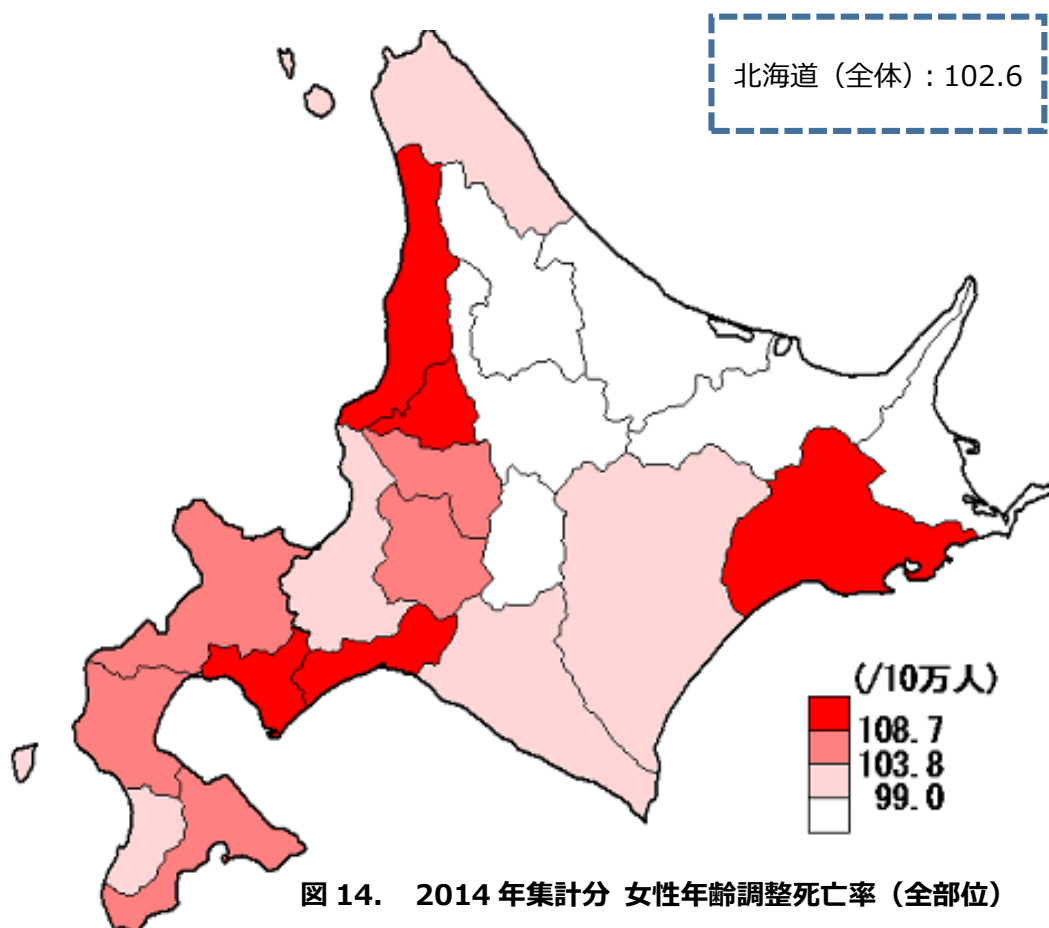


图 14. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（全部位）

# 年齢調整罹患率/死亡率（胃）

男性

北海道（全体）：69.7

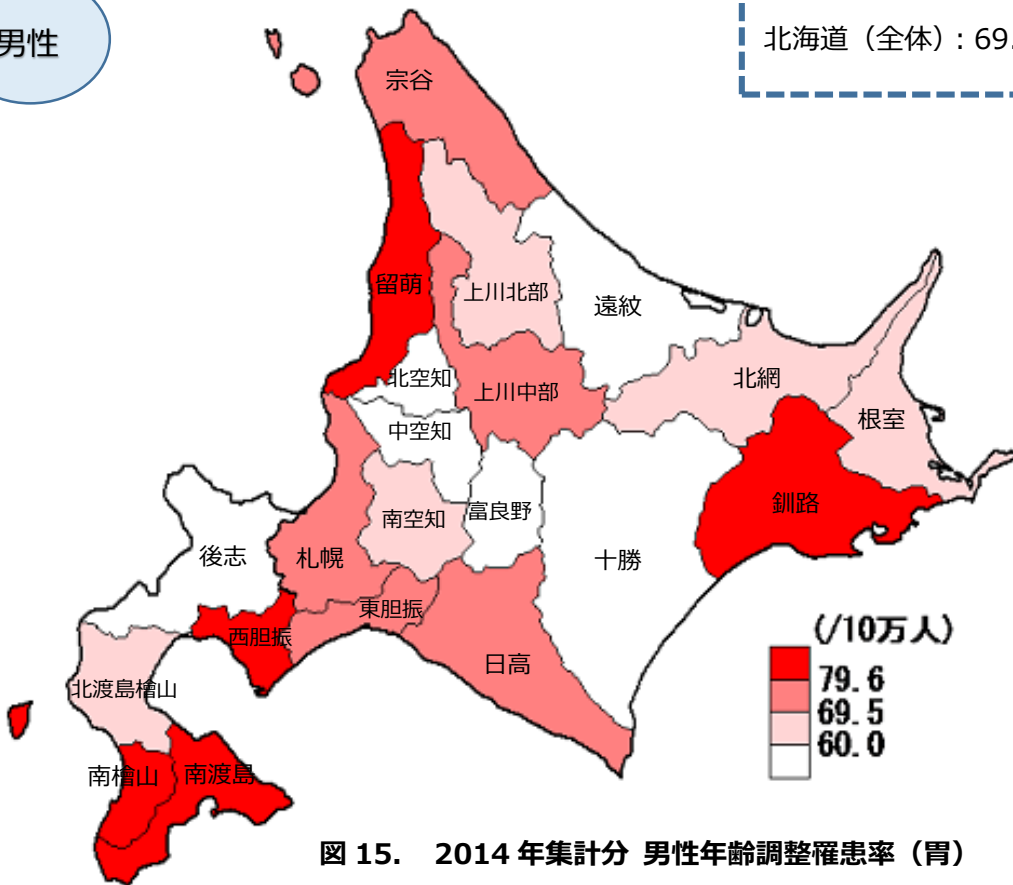


図 15. 2014 年集計分 男性年齢調整罹患率（胃）

北海道（全体）：24.4

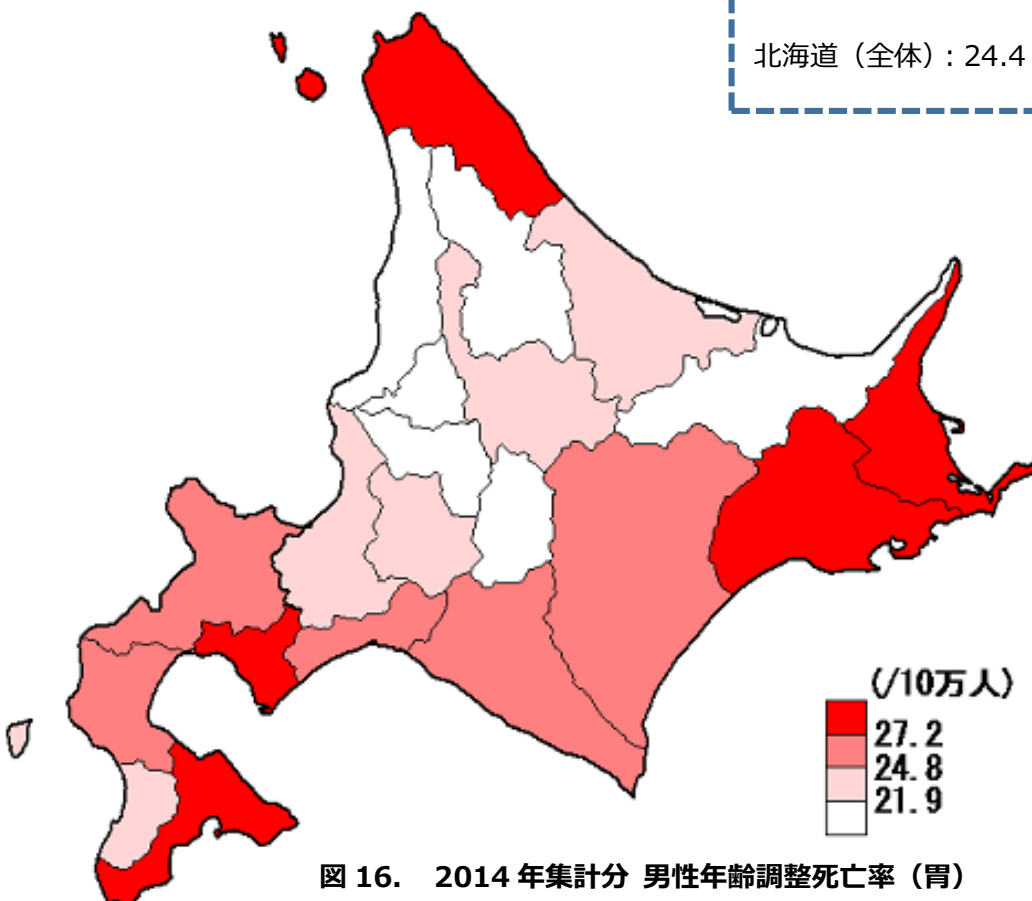


図 16. 2014 年集計分 男性年齢調整死亡率（胃）

# 年齢調整罹患率/死亡率（胃）

女性

北海道（全体）：24.0

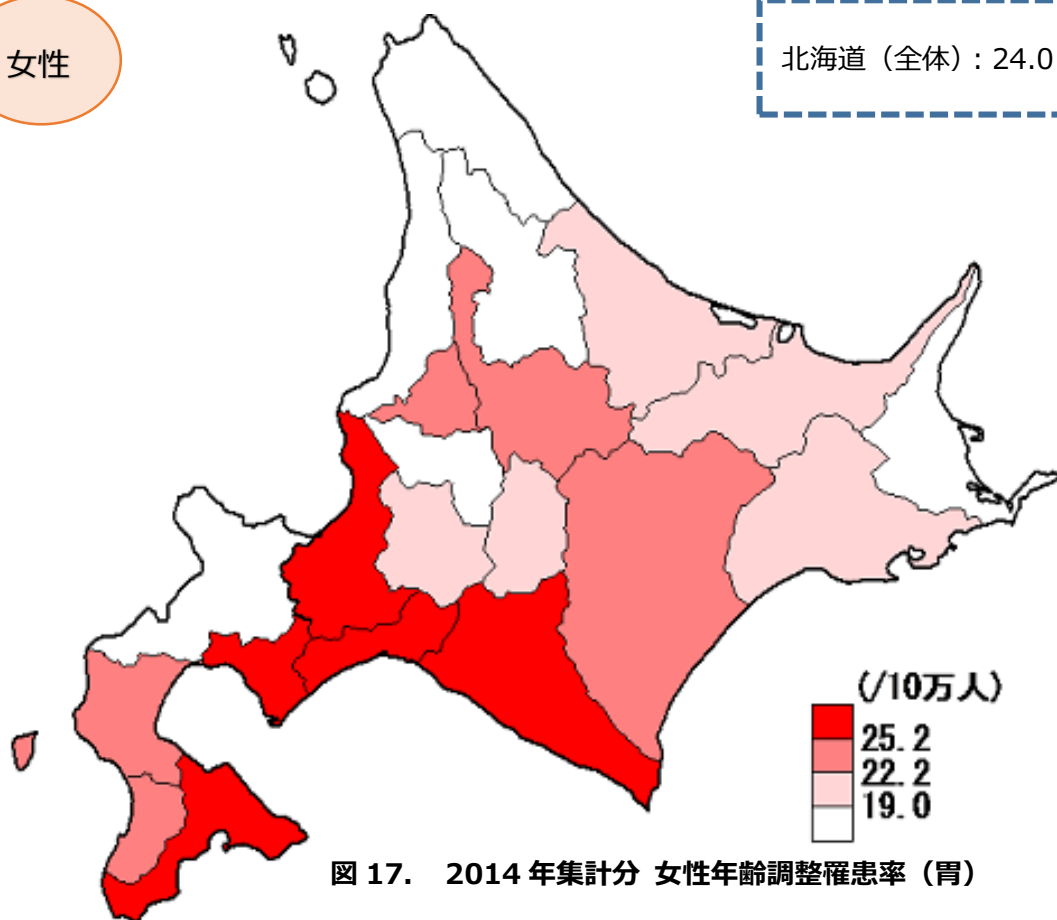


图 17. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（胃）

北海道（全体）：9.1

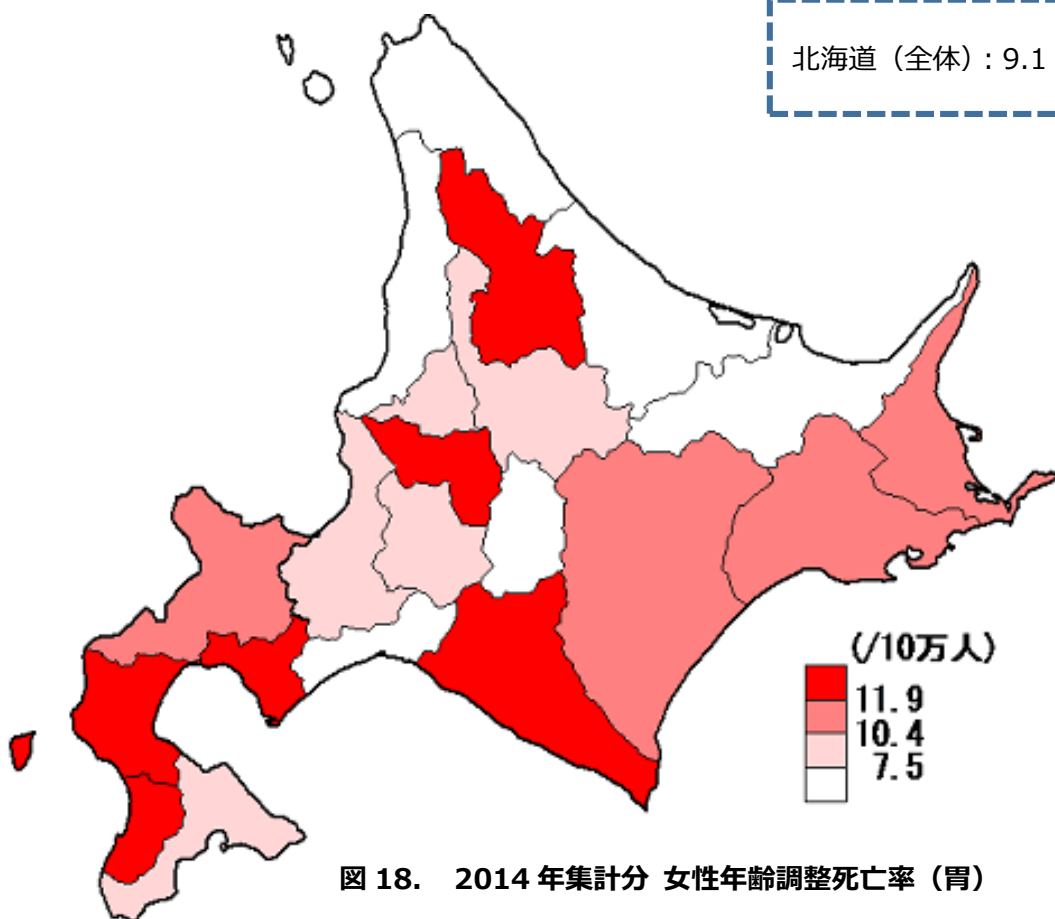


图 18. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（胃）

# 年齢調整罹患率/死亡率（大腸）

男性

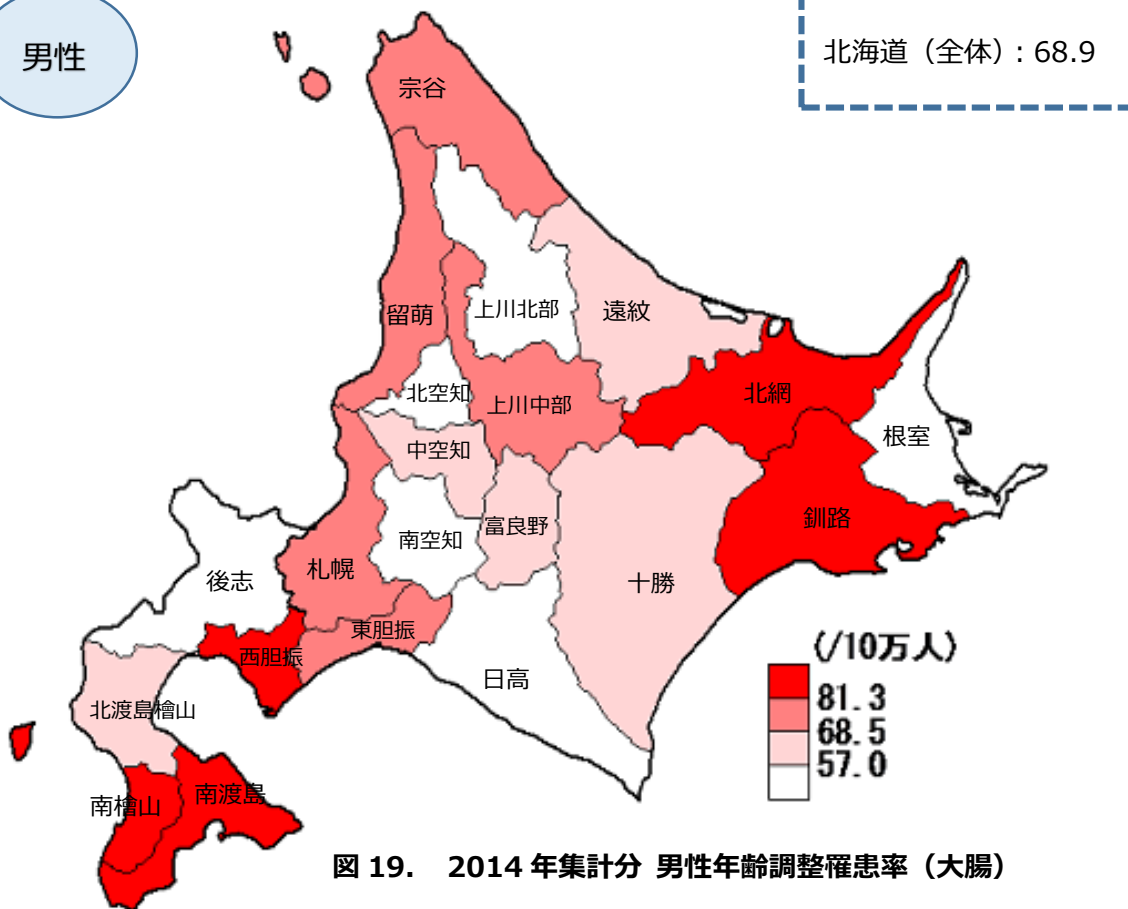


図 19. 2014 年集計分 男性年齢調整罹患率（大腸）

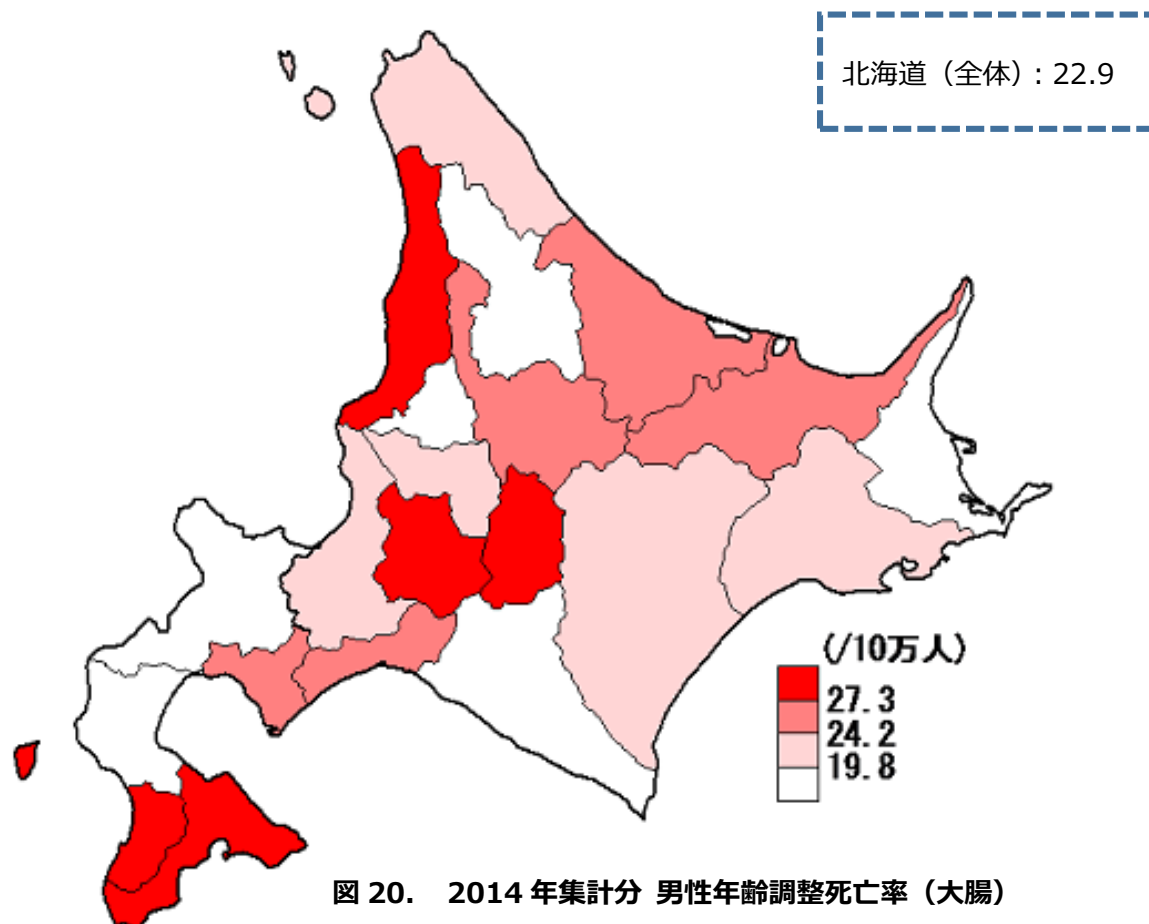


図 20. 2014 年集計分 男性年齢調整死亡率（大腸）

# 年齢調整罹患率/死亡率（大腸）

女性

北海道（全体）：44.5

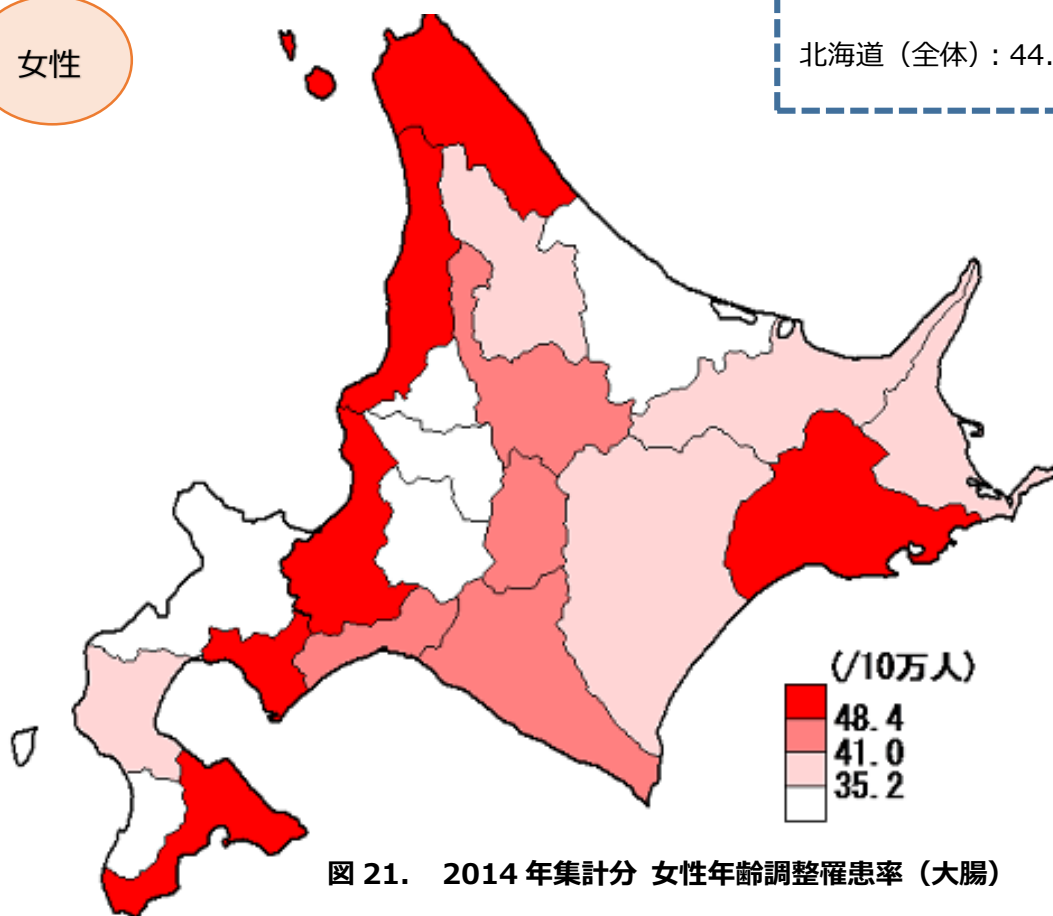


図 21. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（大腸）

北海道（全体）：13.4

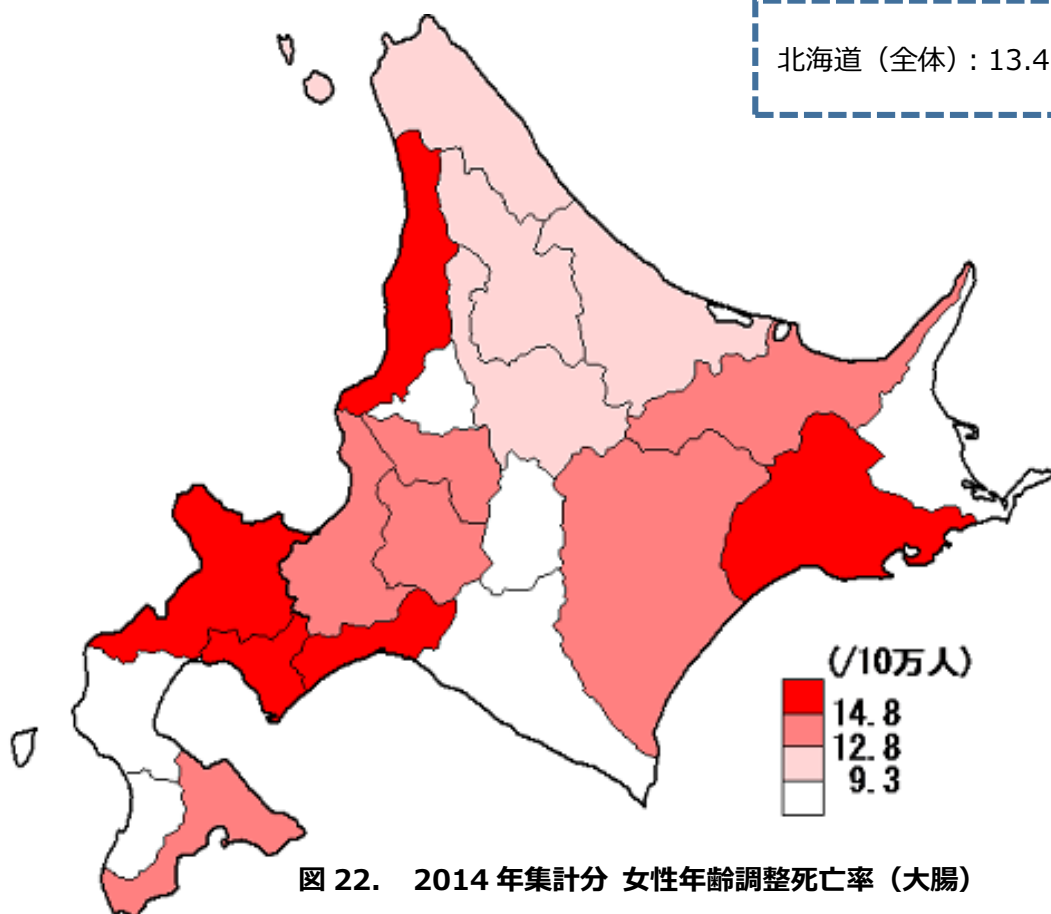


図 22. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（大腸）

# 年齢調整罹患率/死亡率（肺）

男性

北海道（全体）：72.5

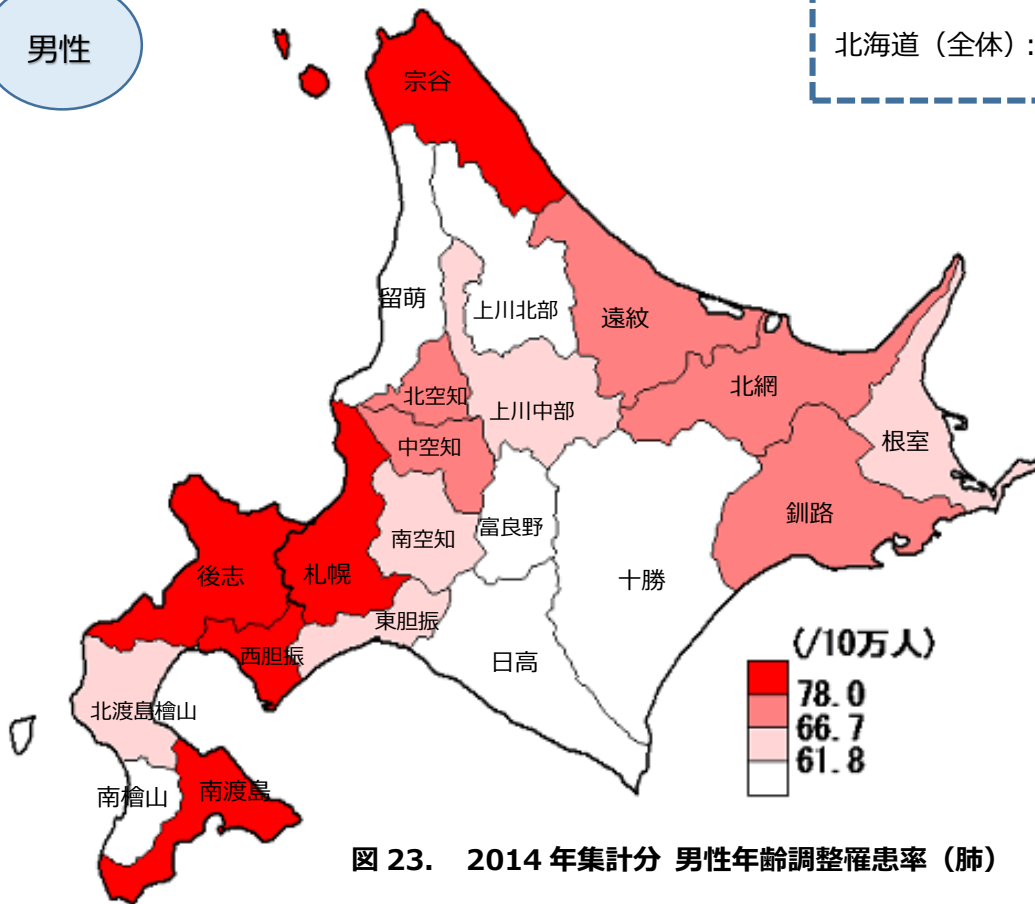


図 23. 2014 年集計分 男性年齢調整罹患率（肺）

北海道（全体）：47.9

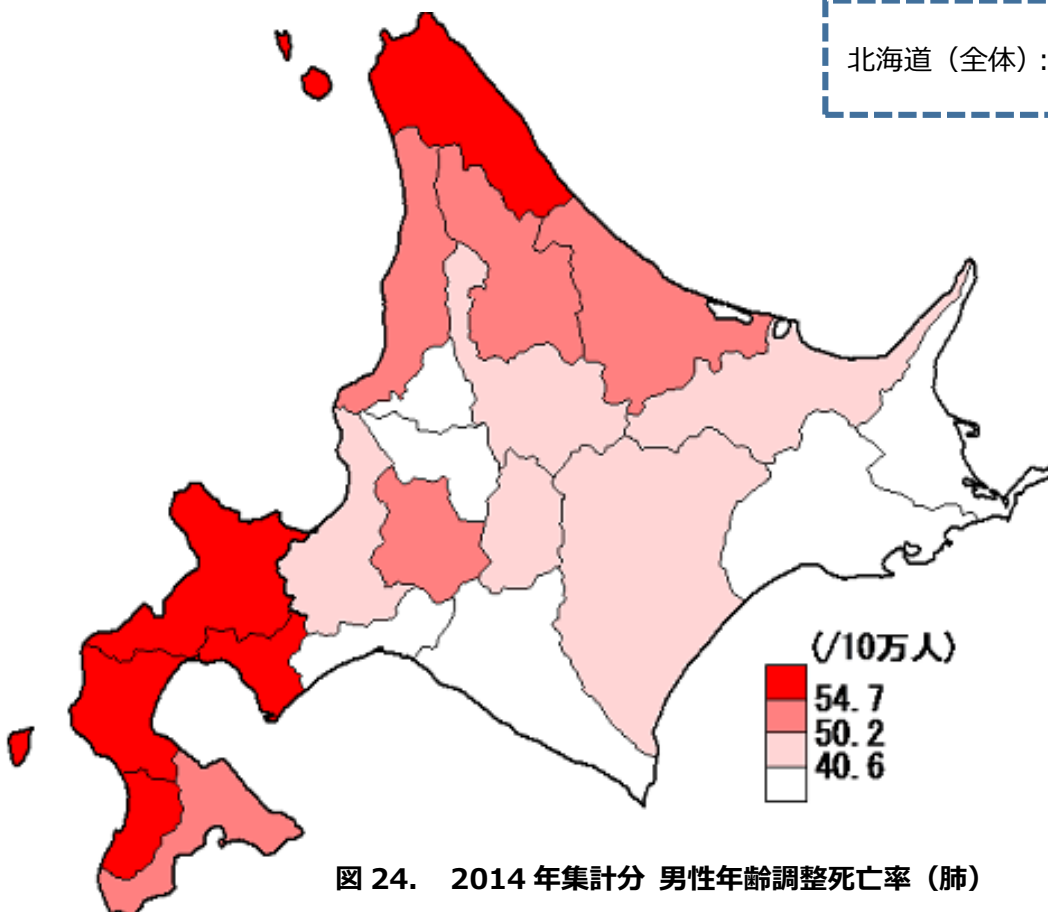


図 24. 2014 年集計分 男性年齢調整死亡率（肺）



# 年齢調整罹患率/死亡率（肺）

女性

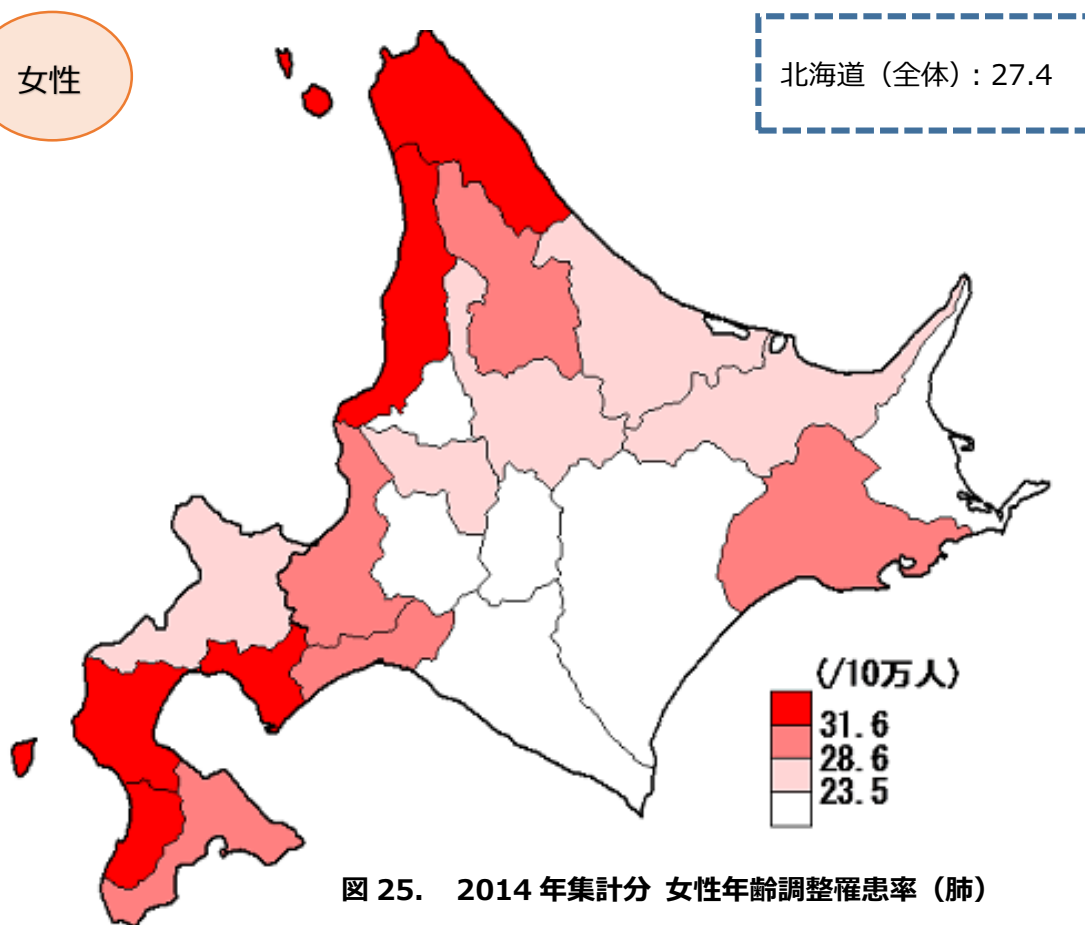


图 25. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（肺）

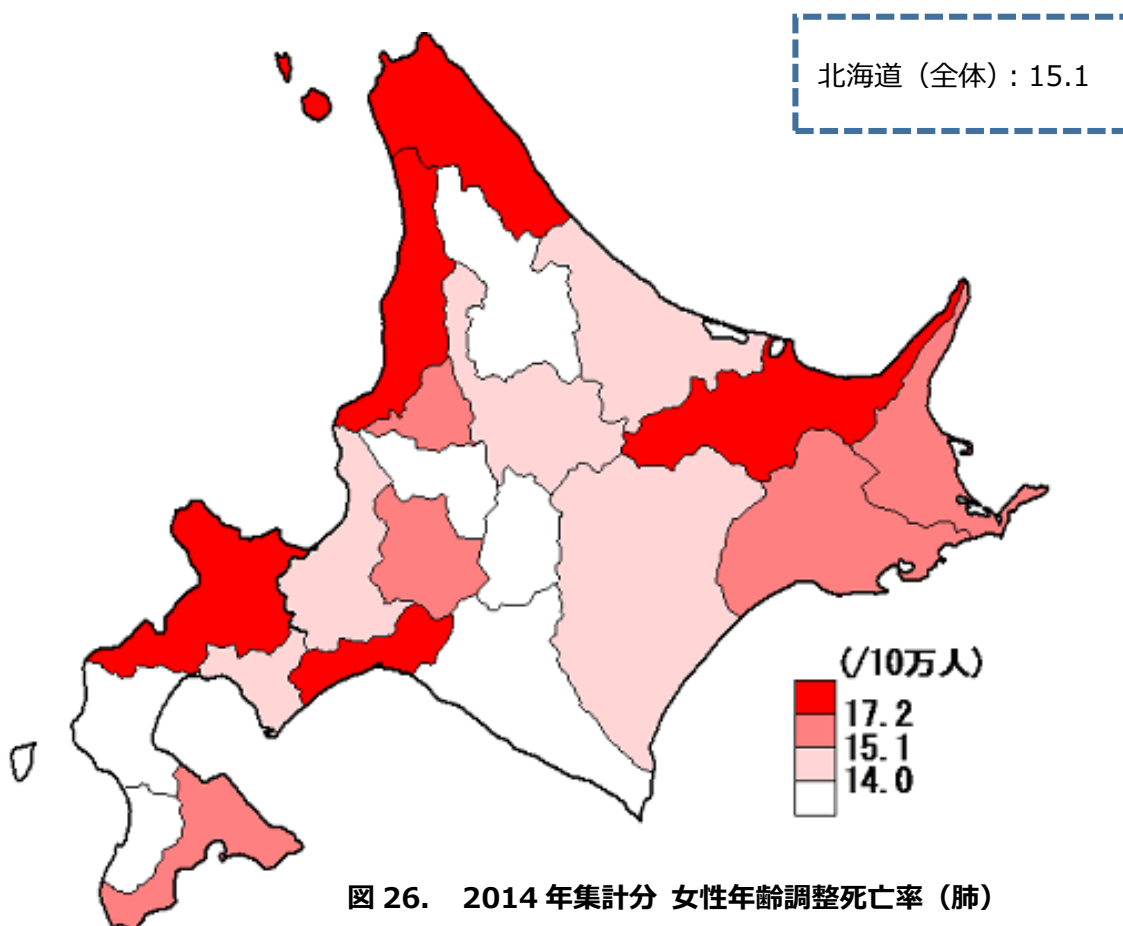


图 26. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（肺）

# 年齢調整罹患率/死亡率（乳房）

女性

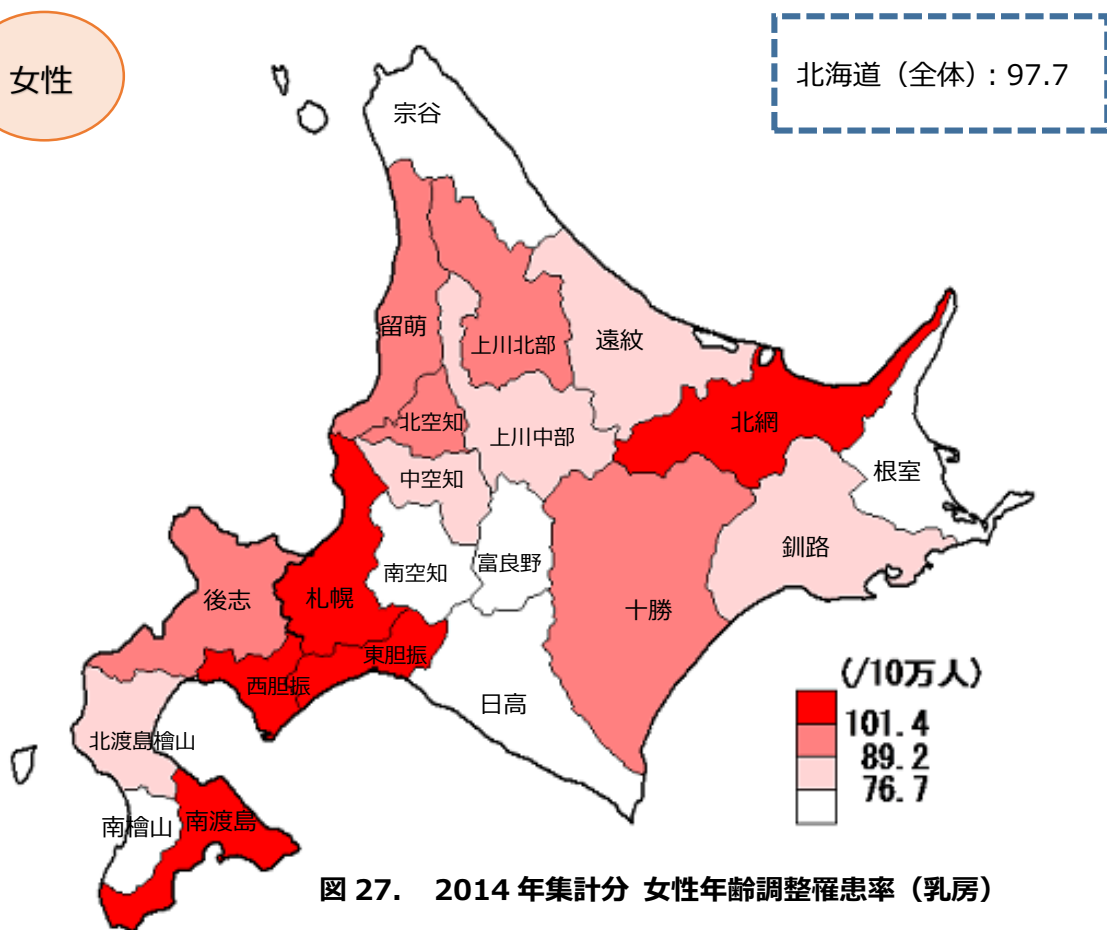


図 27. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（乳房）

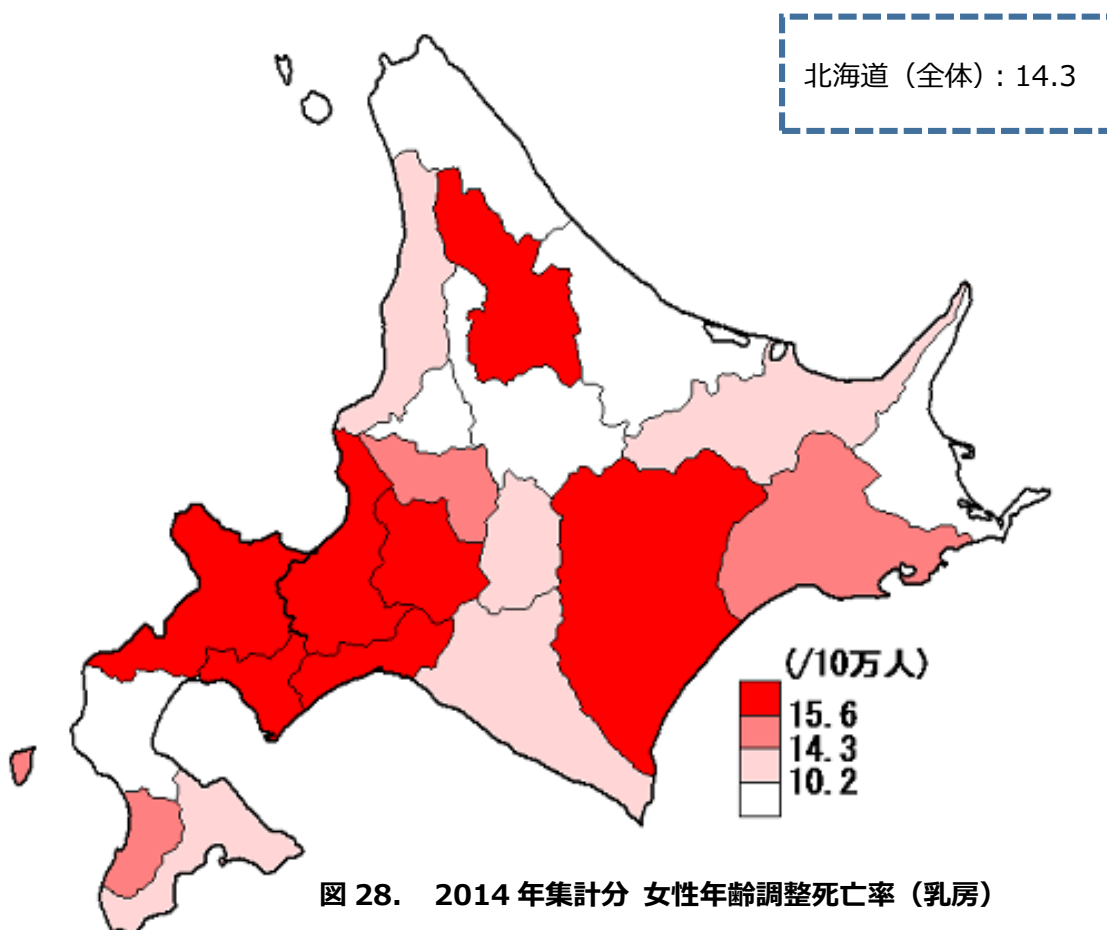


図 28. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（乳房）

# 年齢調整罹患率/死亡率（膵臓）

男性

北海道（全体）：20.2

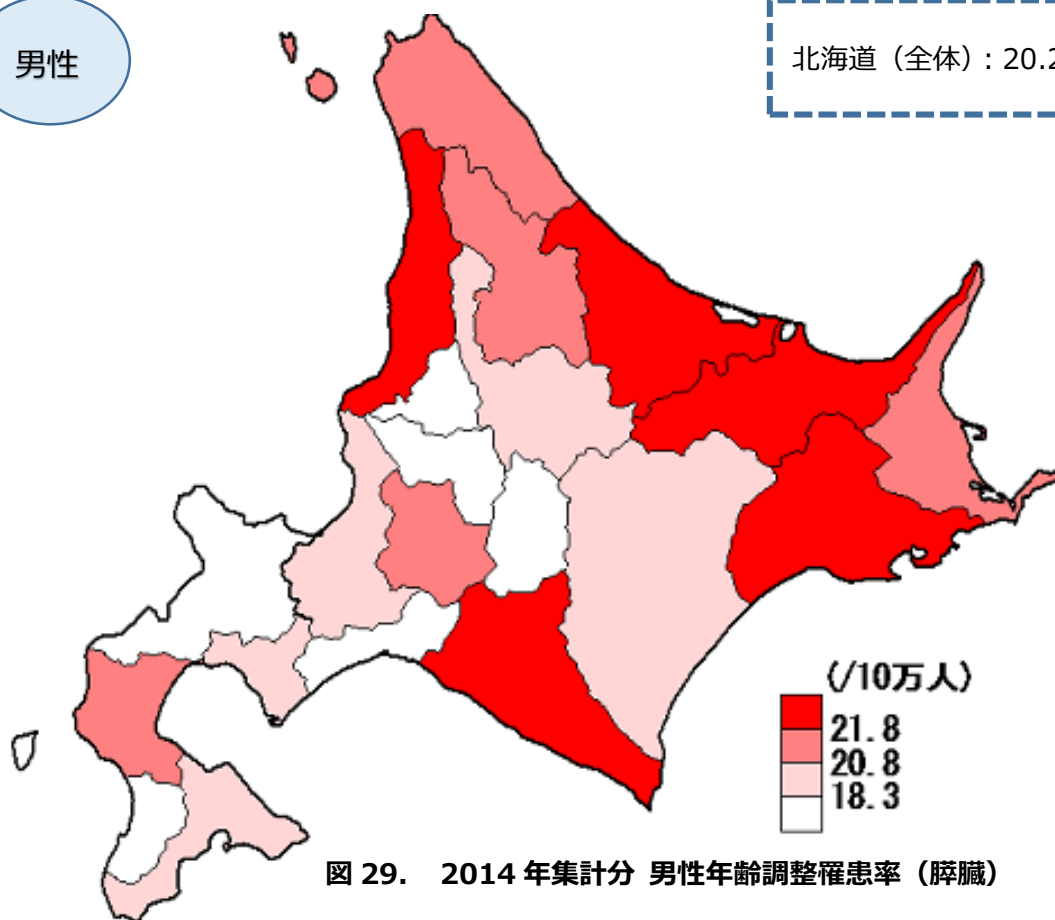


図 29. 2014 年集計分 男性年齢調整罹患率（膵臓）

北海道（全体）：15.8

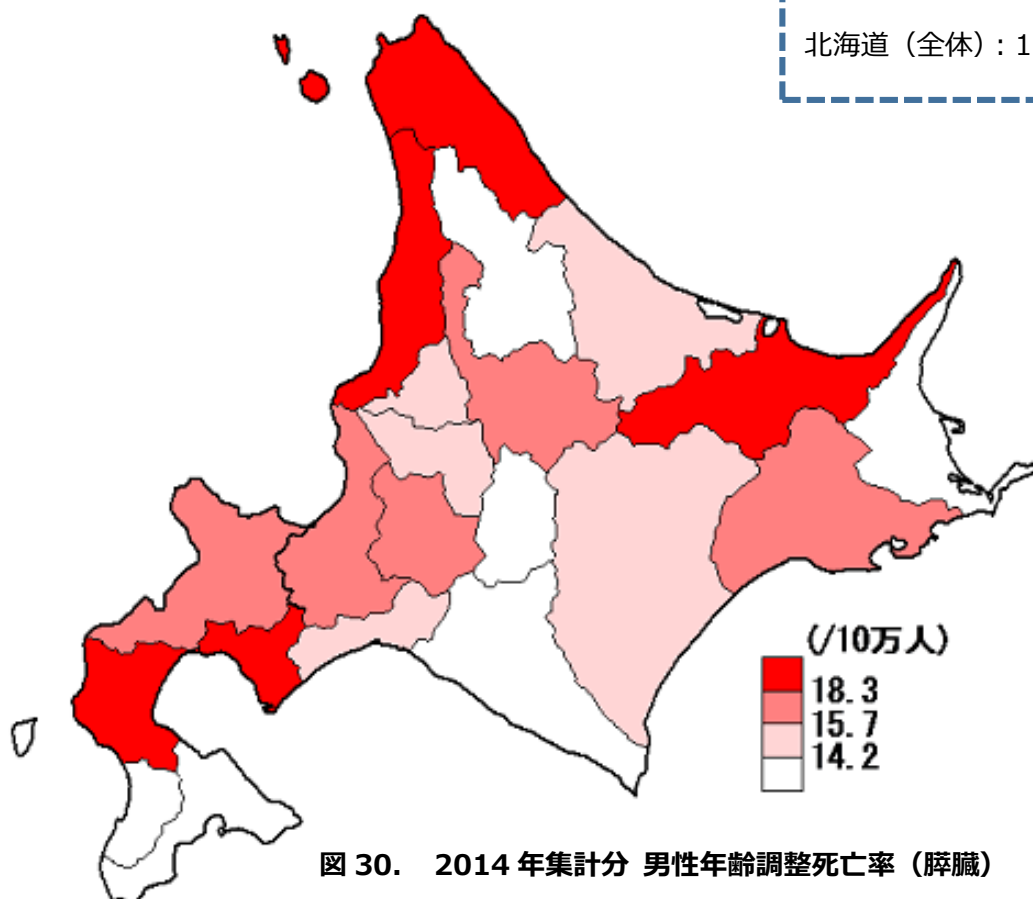


図 30. 2014 年集計分 男性年齢調整死亡率（膵臓）

# 年齢調整罹患率/死亡率（膵臓）

女性

北海道（全体）：14.0

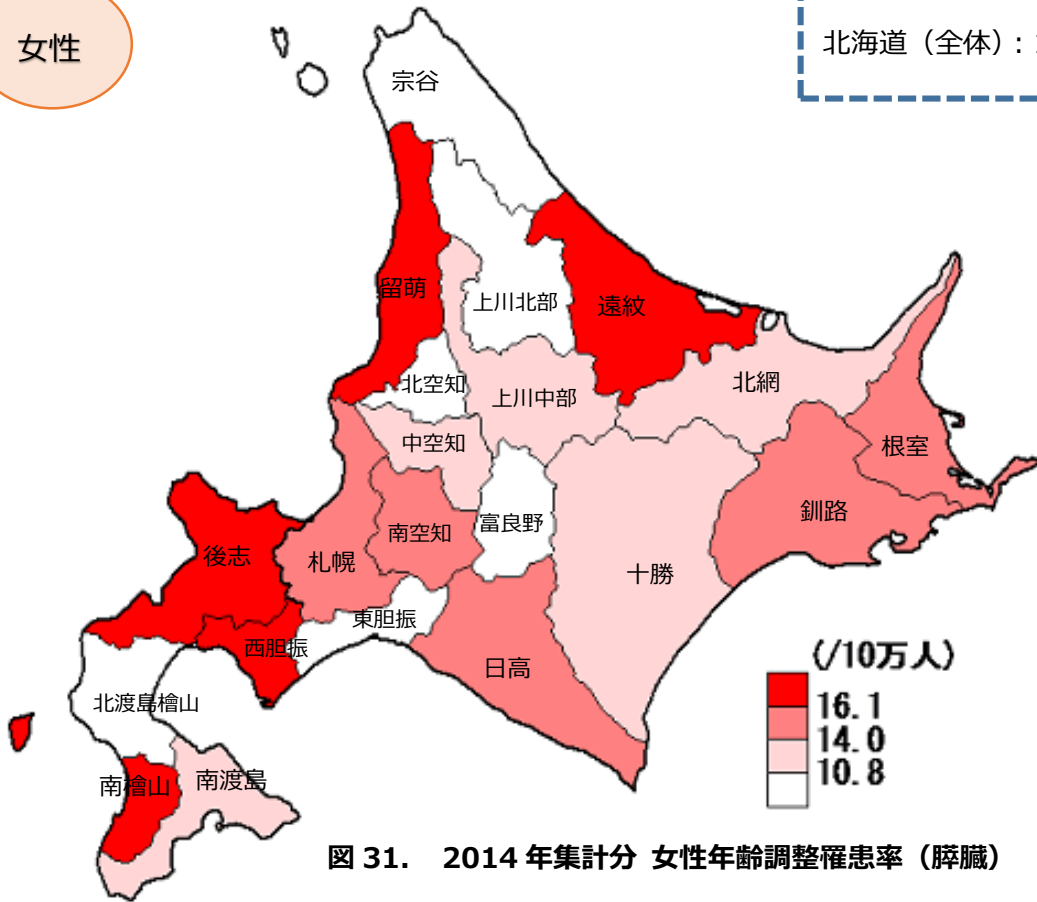


図 31. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（膵臓）

北海道（全体）：10.3

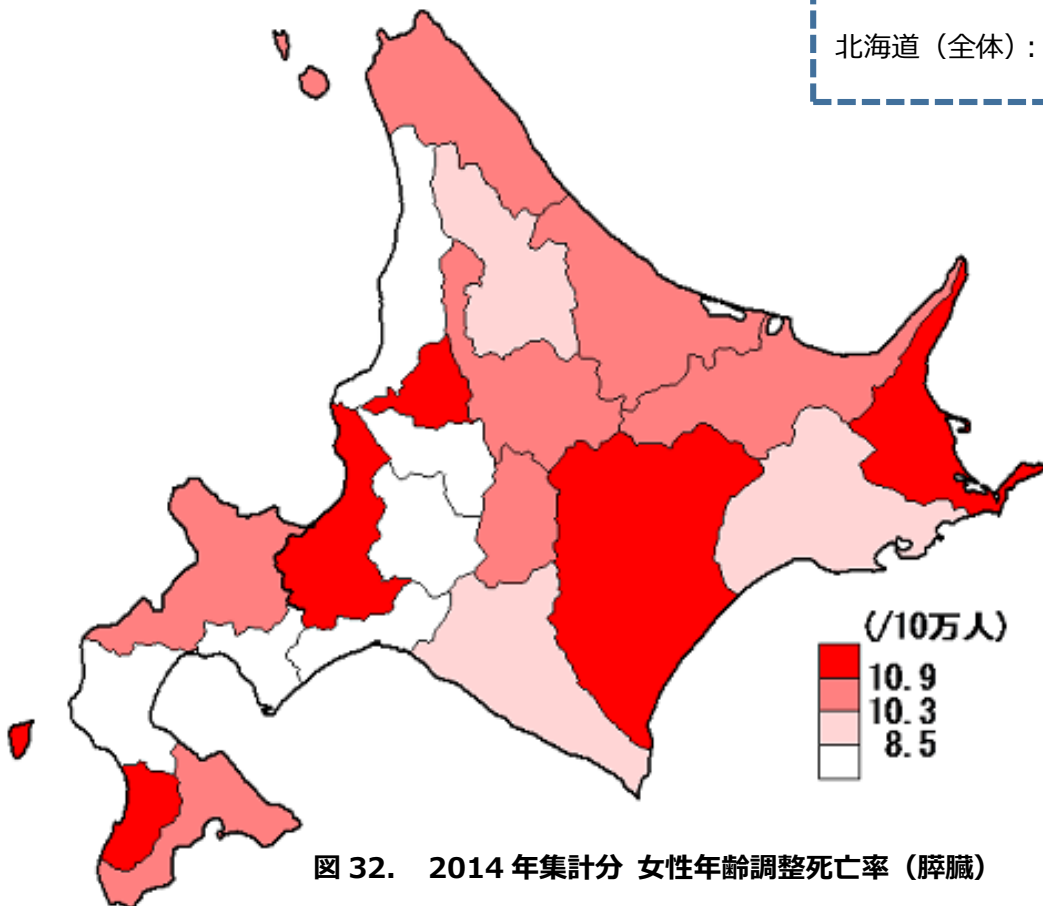


図 32. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（膵臓）

# 年齢調整罹患率/死亡率（前立腺）

男性

北海道（全体）：52.9

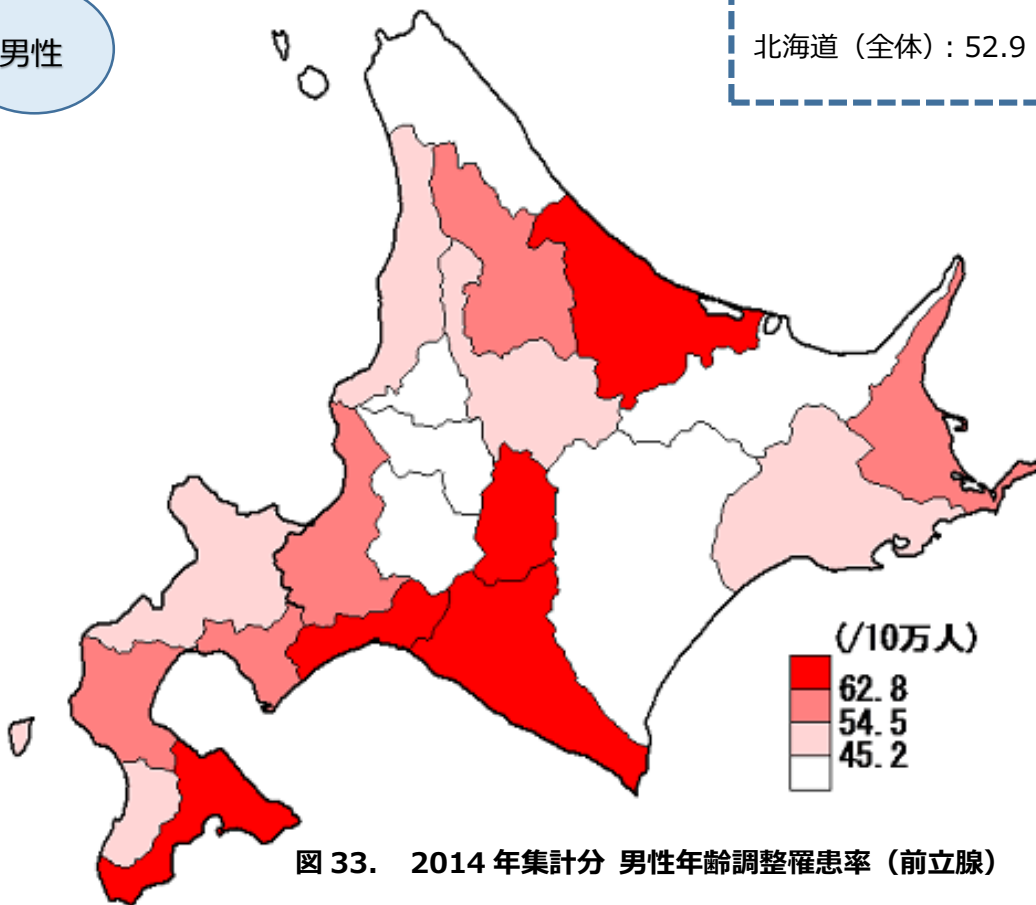


図 33. 2014 年集計分 男性年齢調整罹患率（前立腺）

北海道（全体）：9.7

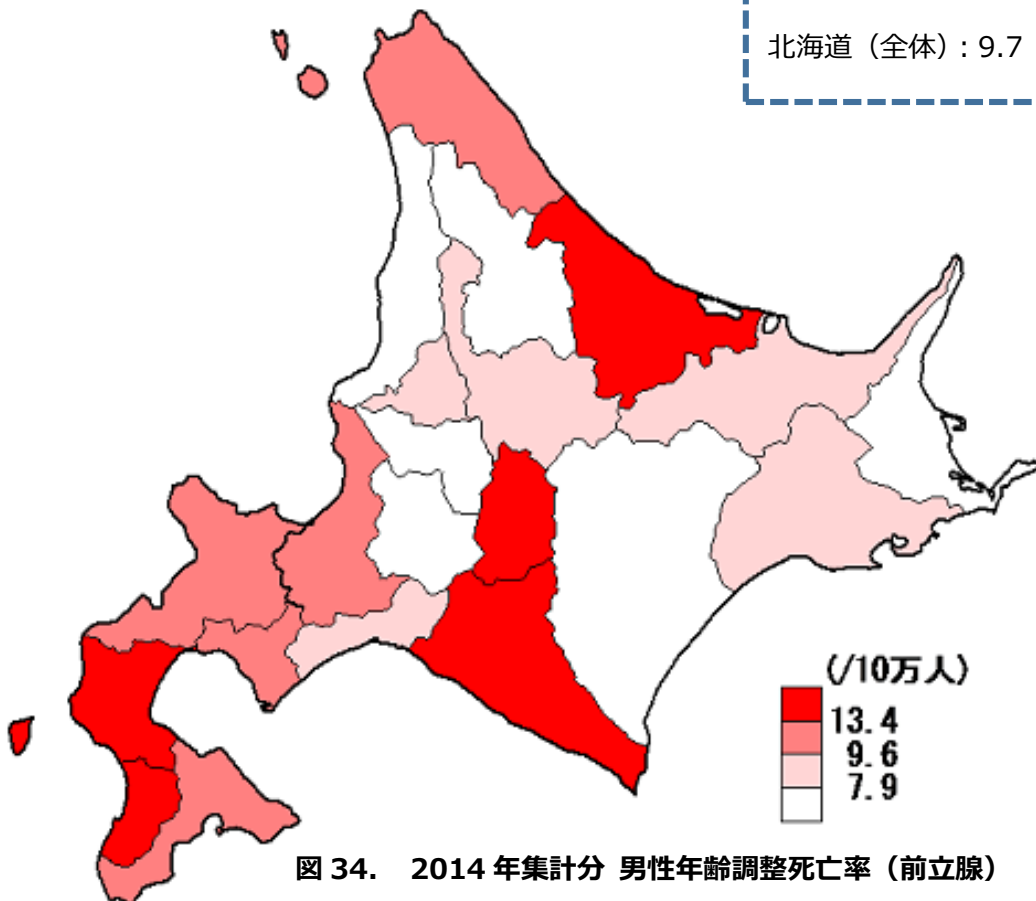


図 34. 2014 年集計分 男性年齢調整死亡率（前立腺）

# 年齢調整罹患率/死亡率（子宮頸部）

女性

北海道（全体）：16.1

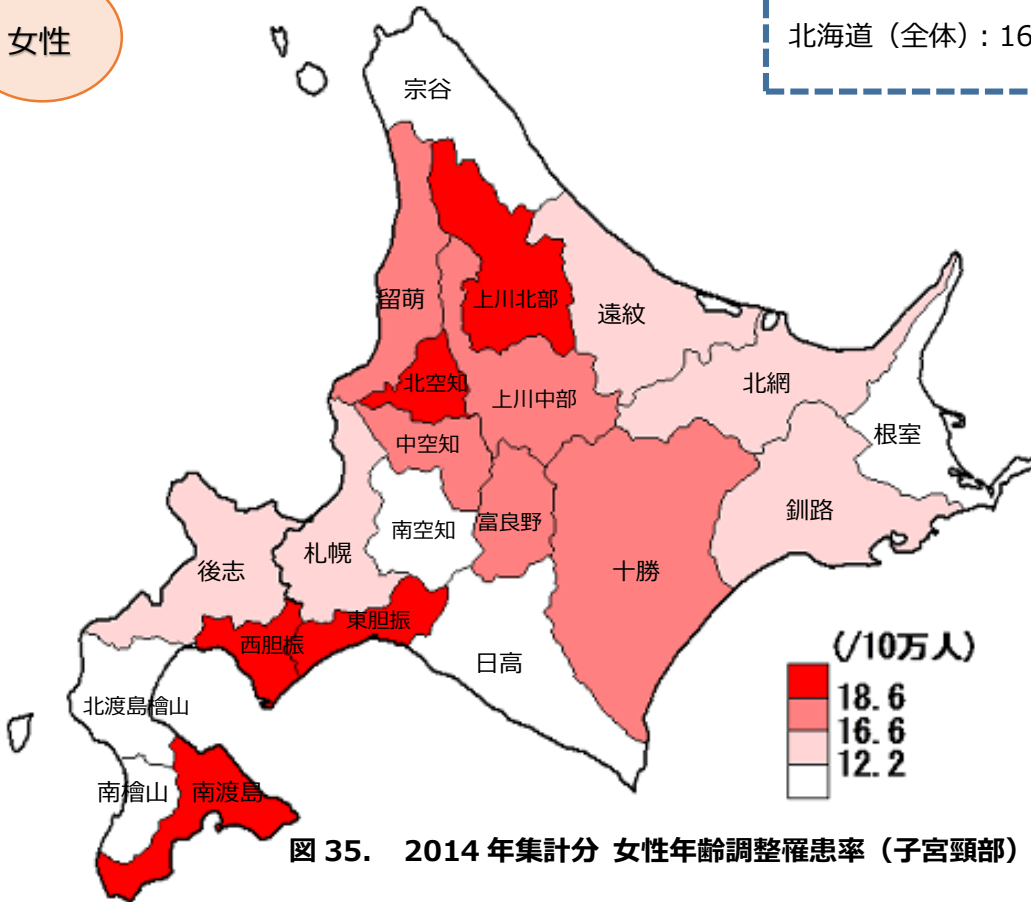


图 35. 2014 年集計分 女性年齢調整罹患率（子宮頸部）

北海道（全体）：3.8

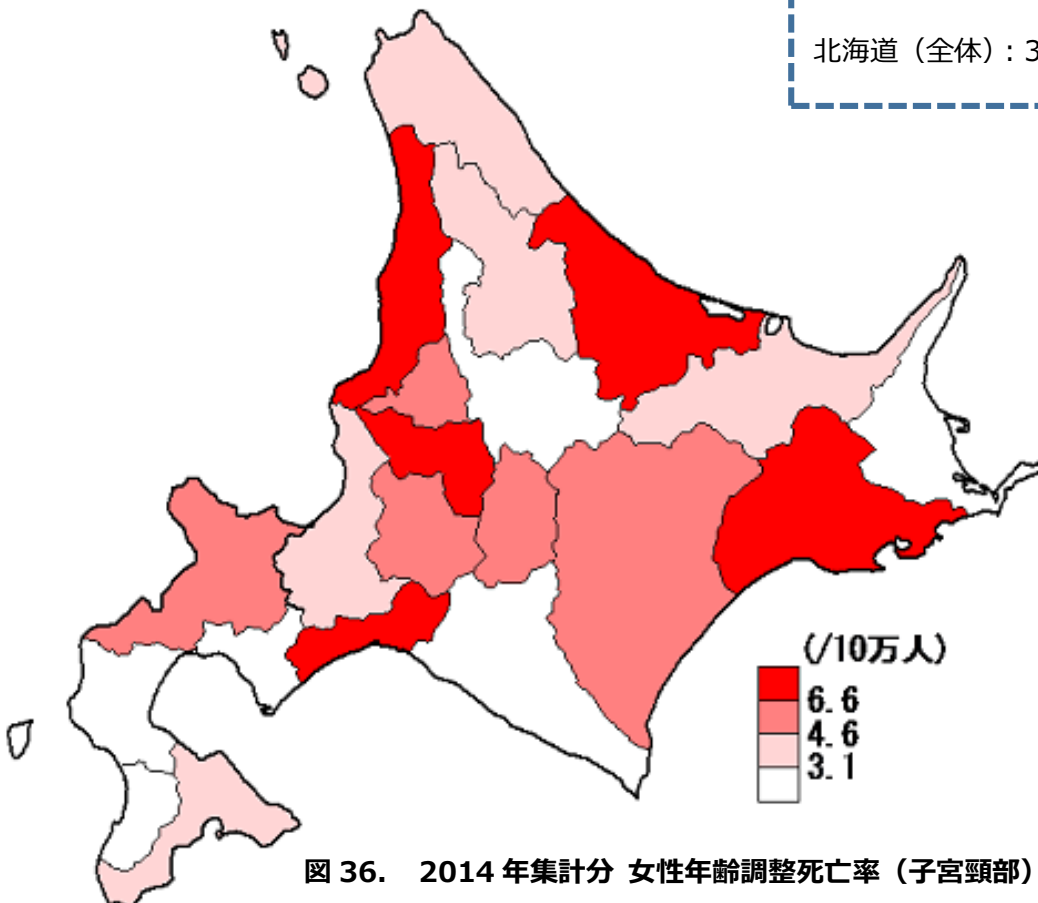


图 36. 2014 年集計分 女性年齢調整死亡率（子宮頸部）

# がん診療連携拠点病院が占める割合

南檜山圏、北渡島檜山圏、後志圏、南空知圏、北空知圏、日高圏、上川北部圏、富良野圏、留萌圏、宗谷圏、遠紋圏、根室圏は、がん診療連携拠点病院（以下「拠点病院」）が、自圏内に整備されていない。

自圏内に拠点病院が整備されていない医療圏と、整備されている医療圏で生活する患者の受療動向を把握することで、今後の二次医療圏への医療資源の整備を検討する資料として役立てることができる。

## 初診病院に占める割合

■ 拠点病院 ■ 非拠点病院 ■ 不明

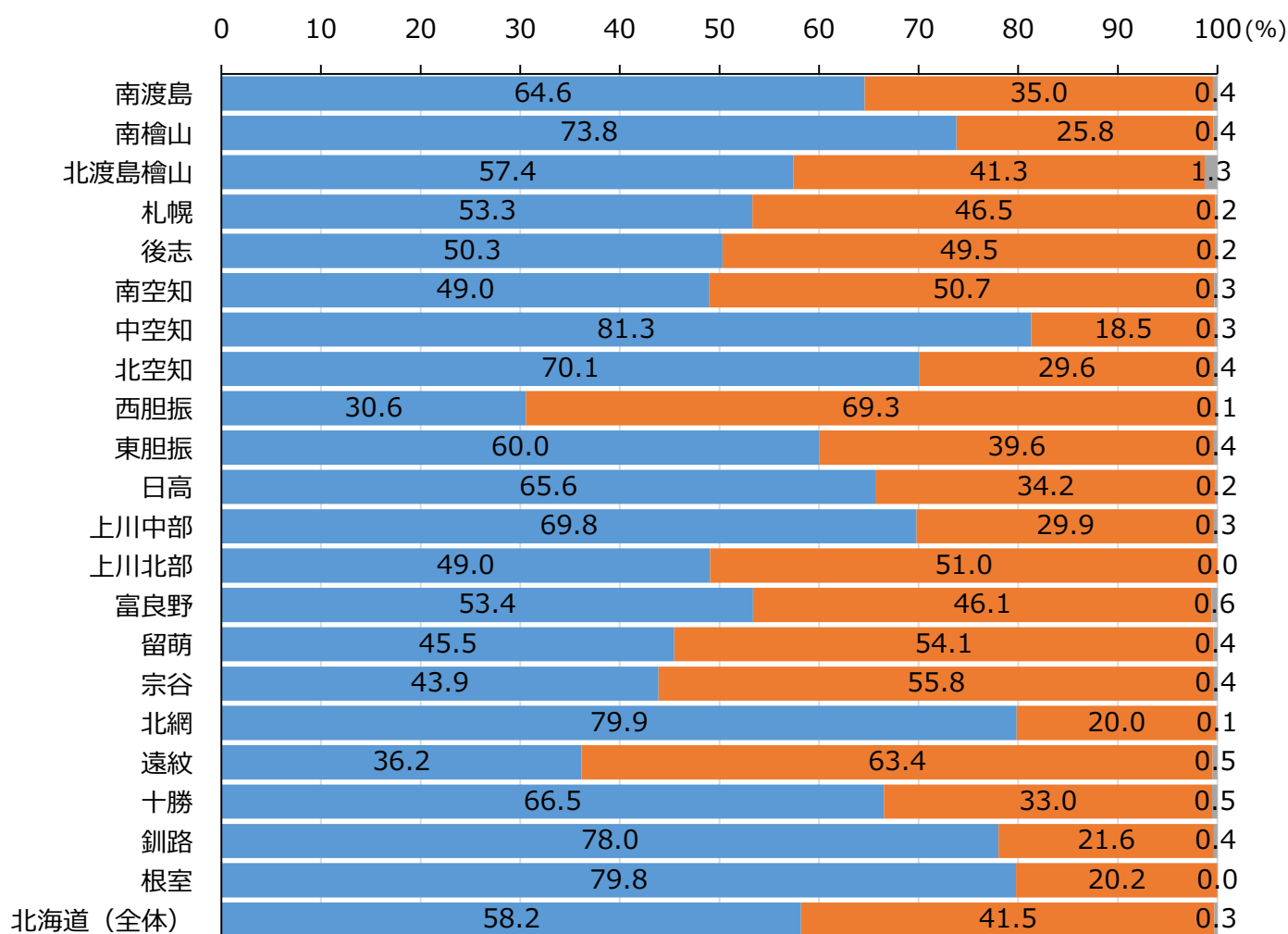


図 37. 2014 年集計分 初診病院

自圏内に拠点病院が整備されていない医療圏は、整備されている医療圏と同様に 初診時点で拠点病院を受診する割合が高かった。西胆振圏および遠紋圏は初診時点で、拠点病院より非拠点病院に受診する割合が高かった。西胆振圏には、拠点病院が 1 か所指定されているが、非拠点病院に

受診する割合が高かった。

西胆振圏と同様に 自圏内に拠点病院が 1 か所のみ指定されている医療圏は、他に 4 圏あるが  
いずれも拠点病院の割合が高かった。札幌圏は 8 施設が拠点病院の指定を受けているが、初診時点  
で拠点病院を受診する割合は 53.3%であり、北海道(全体)の割合を下回った。

札幌圏では多くの拠点病院が指定されているが、医療機関数が数多く存在するため拠点病院での  
受療割合が少なくなる可能性がある。(図 37)

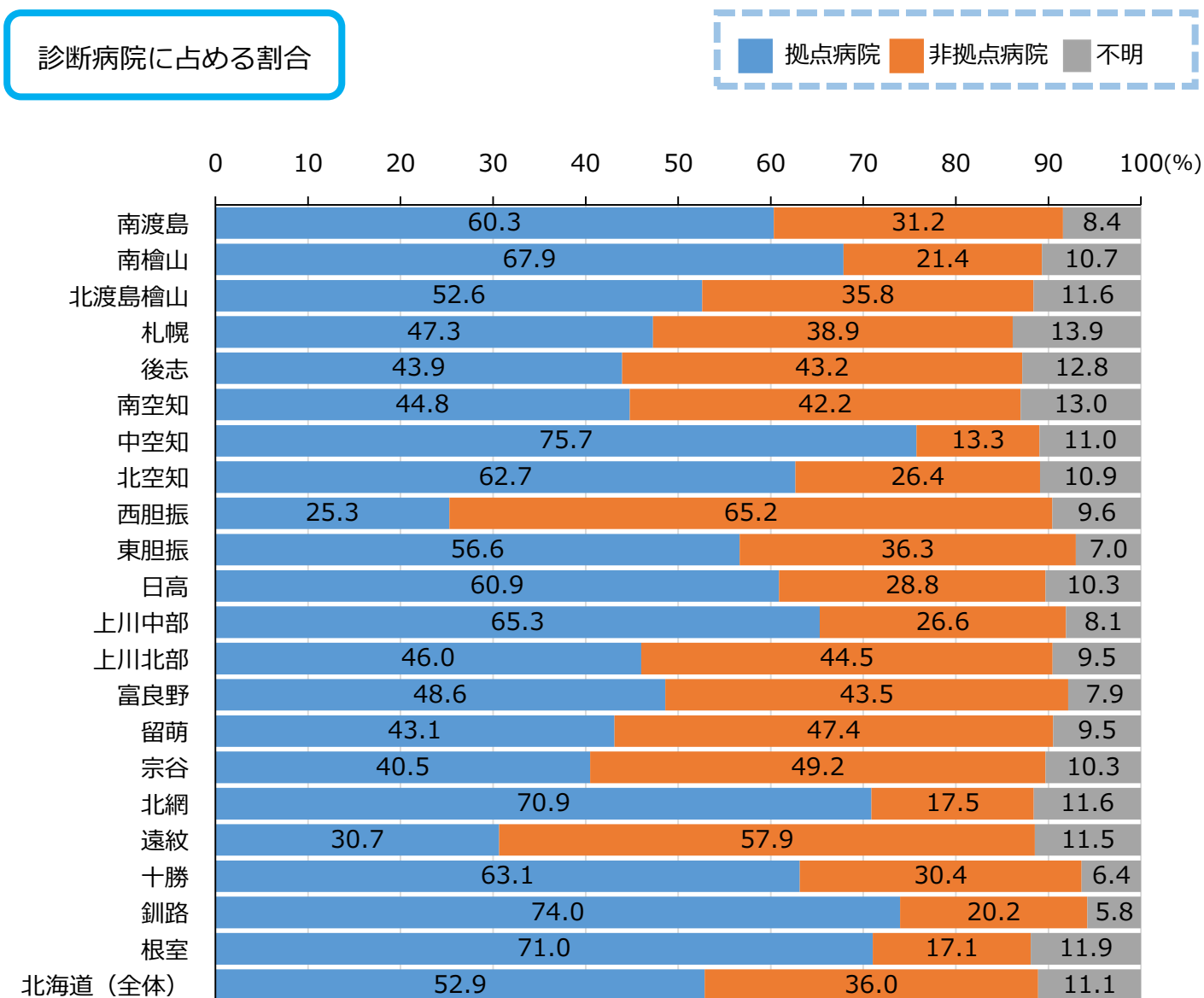


図 38. 2014 年集計分 診断病院

「初診病院に占める割合」と同様の傾向を示した。(図 38)



「初診病院に占める割合」「診断病院に占める割合」と同様の傾向を示した。(図 39)



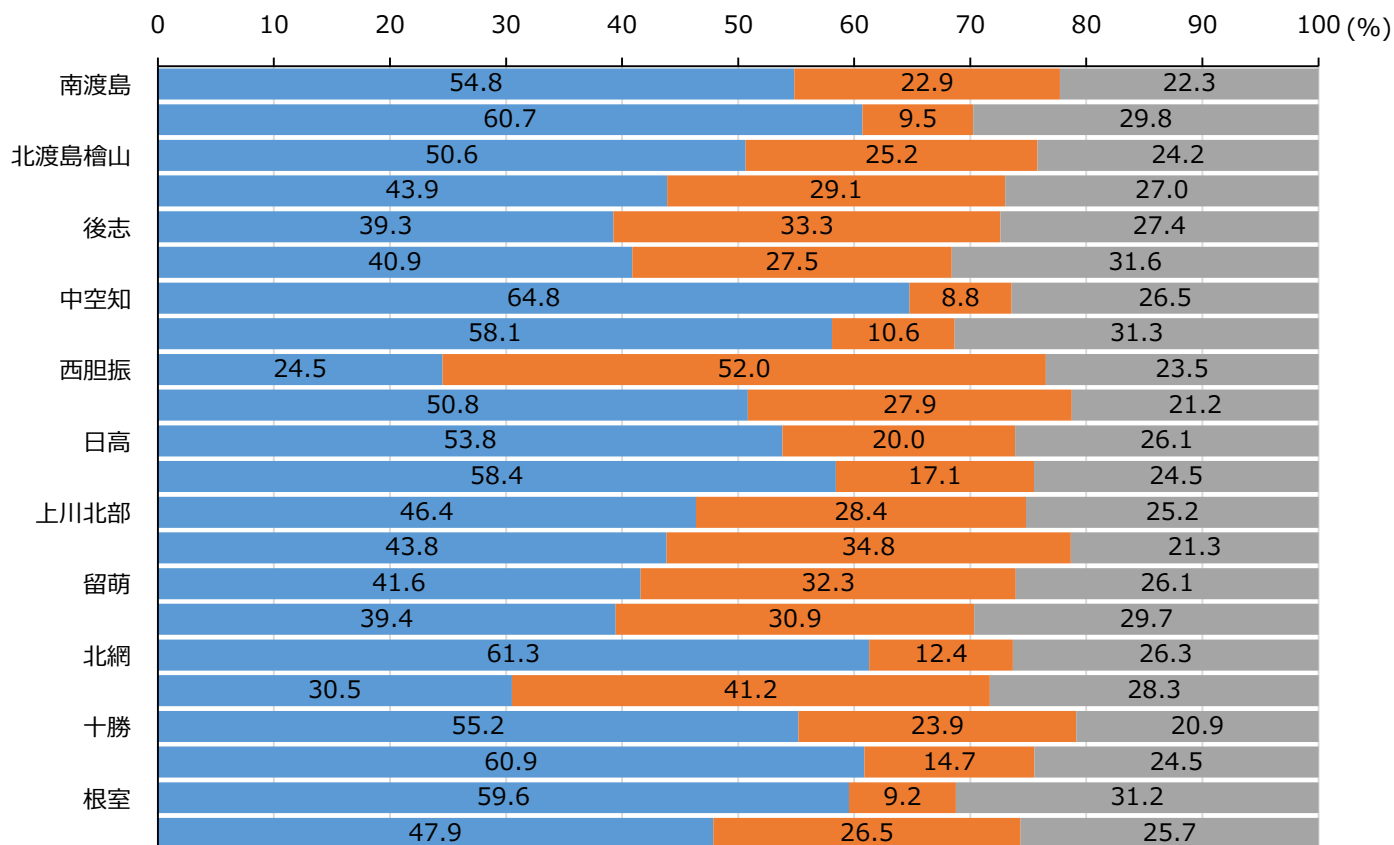


図 39. 2014 年集計分 治療病院

図 39 で 2014 年集計分治療病院  
「不明/無治療」の年齢階級別割合

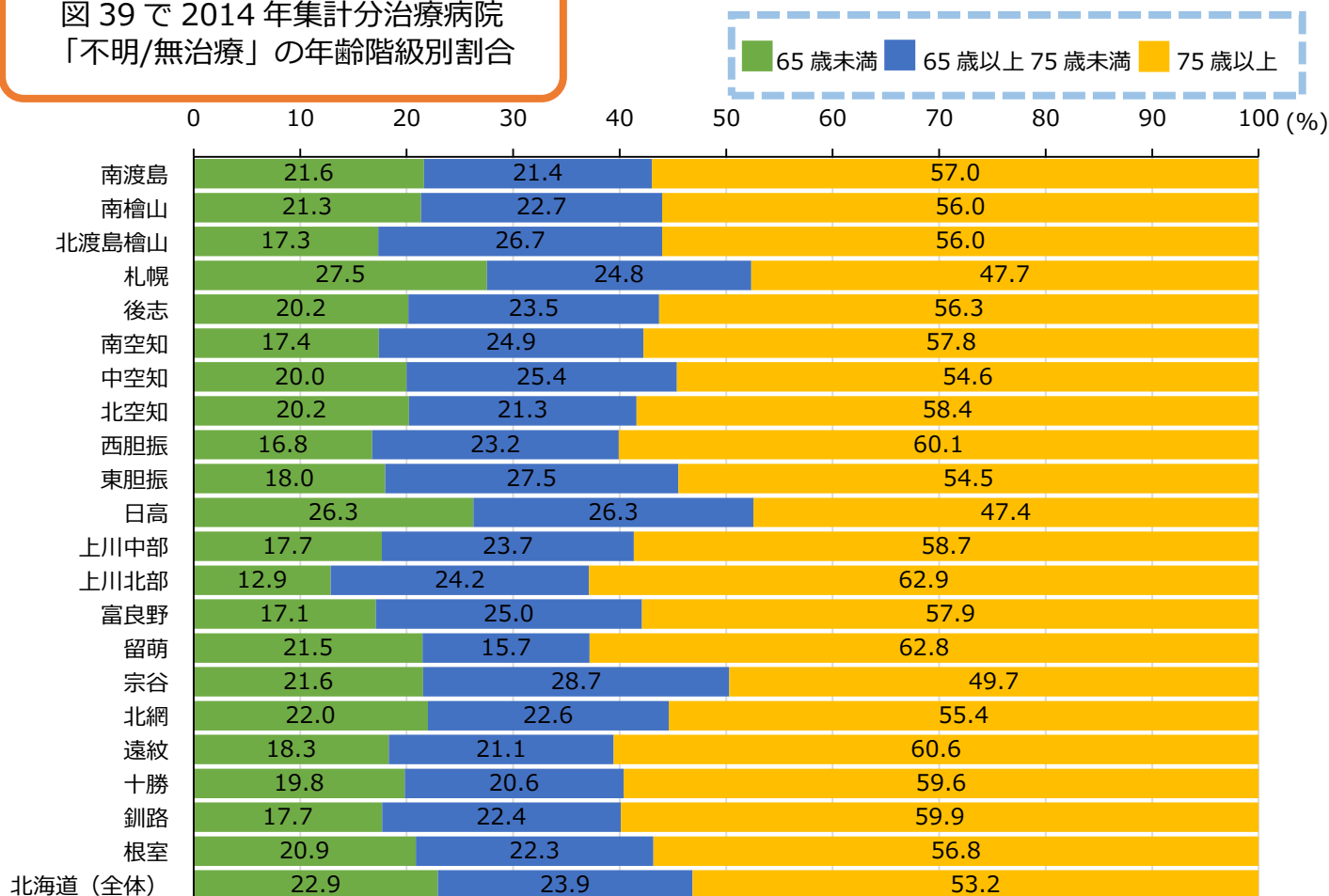


図 40. 2014 年集計分 治療病院「不明/無治療」の年齢階級

75歳以上で「不明/無治療」の割合が高かった。65歳未満は、札幌圏が最も高く27.5%、次いで日高圏26.3%だった。75歳以上は、上川北部圏が最も高く62.9%、次いで留萌圏で62.8%だった。(図40)

初診・診断・初回治療ともがん診療連携拠点病院以外の割合

がん診療連携拠点病院に指定されている病院が多く存在する医療圏であっても、自圏内に多くの医療機関がある場合は、がん診療連携拠点病院には受療しない可能性が高い。自圏内に医療機関が少ない場合は他圏域のがん診療連携拠点病院に受診する可能性が高いと考えられる。(図41)

※赤が濃いほどがん診療連携拠点病院以外の割合が高い

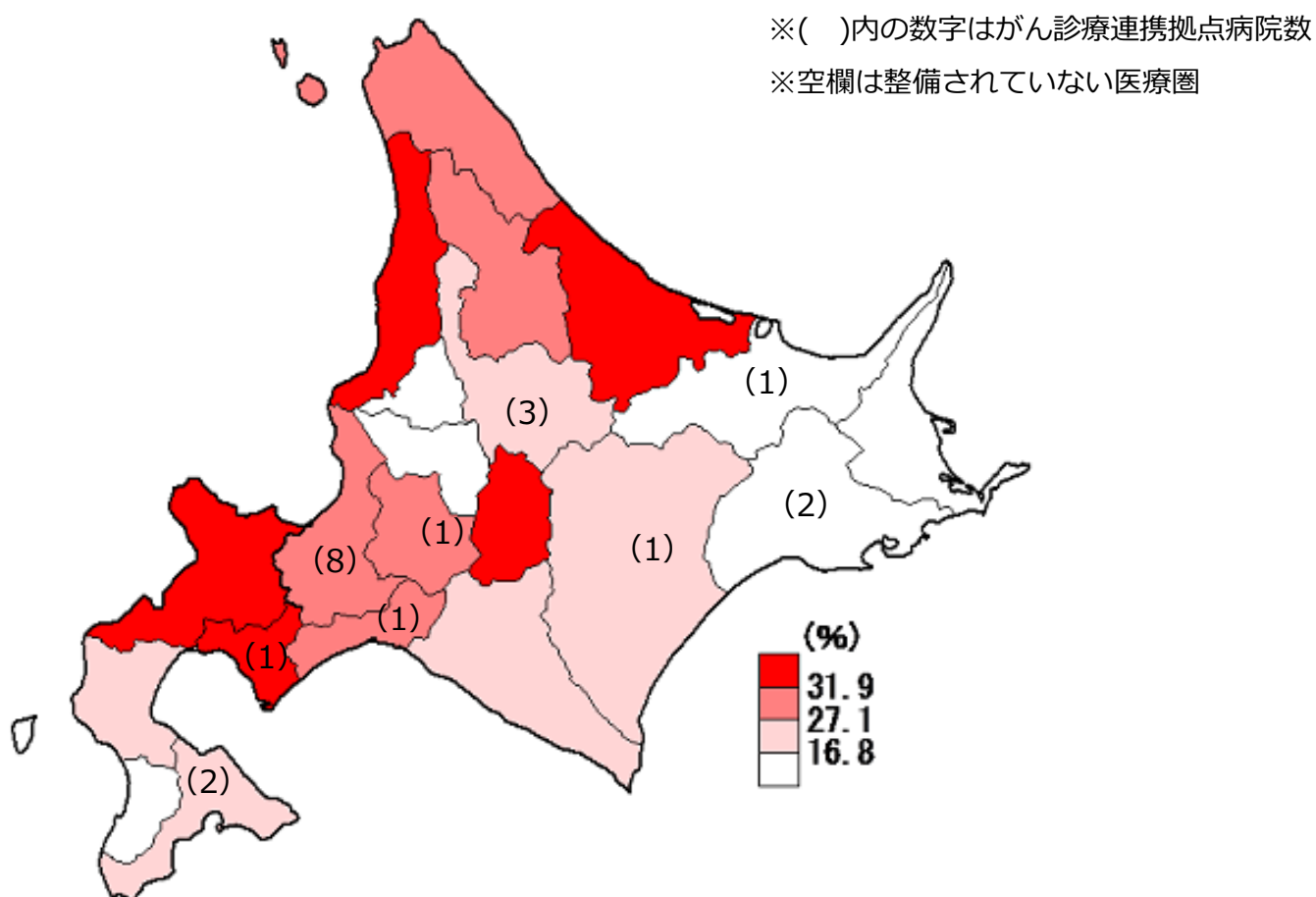


図41. 2014年集計分  
 がん診療連携拠点病院以外で受療した割合